

ナンラ(防塵剤)

グラウンドや公園の整備・防塵効果について

概要

ナンラは地下深層水からとったミネラルにクエン酸をコーティングしてできたもので、安全かつ安価なものです。

従来から使用されている塩化カルシウムの代替えとして使用できます。

特徴

1. 塩化カルシウムは土壌と反応して地表をより硬化させてハードにし足首等への負担が大きくなり、塩害をもたらすグラウンドで負傷した時の刺激が強くなるが、ナンラは地表をソフトにし、足首などへの負担を軽減し、塩害をもたらすことなくグラウンドで負傷した時の刺激を緩和することができます。

2. 塩化カルシウムの散布量は1㎡あたり80g~100g近く散布する必要があるのに対して、ナンラは1㎡あたり50g~60gの散布が適正です。

3. 塩化カルシウムは潮解性が強く空気中の湿気を吸収してすぐ溶けて地表をウェットにするが、持続性が短くグラウンド・公園の整備、防塵効果を出すために4~6か月に1回散布するが、ナンラは空気中の湿気を吸収するのが遅く持続性があるので8~12か月に一回散布する。

4. 塩化カルシウムはコンクリートと接するとコンクリートが裂化し崩れやすくなるが、ナンラは裂化が軽減される。

5. 水に溶かし散布すると速効性はあるが持続性は塩化カルシウム同様ナンラも短くなる。

6. 散布60日後の塩化カルシウムが地表に残る割合は30%であり、ナンラは47%である。散布150日後の塩化カルシウムが地表に残る割合は15%であり、ナンラは28.5%である。以上からもナンラは塩化カルシウムに比べて持続性があります。

7. テニスコートのクレーコートに塩化カルシウムを散布すると地表が硬くなりすぎるがナンラはソフト地表となる。

